

もの言う教師のエッセー 第170話

「グッド・ツイッター」

ルールはただ一つ。「良いことだけをつぶやこう。」

ツイッターと言えば今や修羅場の様相を呈していると言っても過言ではあるまい。ゴシップ合戦、いじめ、強迫。。。しかし昨年の暮れ、素晴らしいニュースが全米を駆け巡った。マサチューセッツ州の Brockton 高校にて、同校二年生の匿名の生徒が突然、ツイッターアカウント “@BrocktonComps” を立ち上げたのだ。

「殆どの場合、フェイスブックやツイッターは、残酷な場所になっています。それで私は、人々をバッシングする代わりにポジティブな投稿ができるページを作りたかったのです。」と本人の弁。「セリーナは私の親友。彼女なしではありえないわ!」「カルロスってスゲー!」「ホーガン先生の授業はサイコーで忘れられないものになりました。」などなど。「本当に素晴らしいです。否定的なものを積極的なものに変えてしまう人がいるとは! 彼らのためだけでなく、他の子供たちにとっても。」と、校長のシャロン・ウォルダー氏は喜びに震える。聖書はズバリ

「悪いことばを、いっさい口から出してはいけません。ただ、必要な時、人の徳を養うのに役立つ言葉を話し、聞く人に恵みを与えなさい。」エペソ人への手紙 4 章 29 節

と、ストレートに語っている。などと本稿を書いている私自身も、つい文句やボヤキをつぶやいてしまう未熟者であるが、不思議なことに良いことをつぶやくと、本人が一番元気になるから面白い。仏作家の テグジュペリ は、「言葉は誤解のもと」などと言ったが、余計なことではなく良いことをつぶやきたいものである。とは言え、罪がある生まれたままの人間が良いことを表現するのは非常に難しい。しかし、自身を「言葉」に例えられるキリストを信じて初めて良いことをつぶやけるように変わって行く。

2015-2-6

